

 Vestax
Professional Mixing Controller
PMC-55

取扱説明書

〒154-0011

東京都世田谷区上馬 2-37-1

電話 03-3412-7011

ファックス 03-3412-7013

Printed in JAPAN

ごあいさつ

この度は、VESTAX PMC-55プロフェッショナルミキシングコントローラーをお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。

ご使用の前に、本取扱説明書をよくお読み下さるようお願い致します。

目次

安全上のご注意	1
本機の特長	3
ご使用上の注意	3
各部の名称と機能	4
ブロックダイアグラム	10
接続例	11
故障かな?と思ったら	12
保証、アフターサービスについて	13
ブーストキャンセルスイッチ/ トリムレベルセレクトスイッチ	14
主な仕様	15

安全上のご注意

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしていますので「安全上のご注意」の内容をよくご理解下さいますようお願い致します。



警告

この表示を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



電源プラグをコンセントから抜け

●記号は行為を強制したり表示する内容を告げるものです。図の中に具体的な表示内容（上図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。



分解禁止

①記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な表示内容（上図の場合は分解禁止）が描かれています。



指を挟まれないように注意

△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な表示内容（上図の場合は指をはさまれないように注意）が描かれています。



警告



電源プラグをコンセントから抜け

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。
- 万一、内部に水や異物などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、その後電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、その後電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

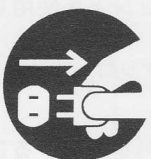


水槽での使用
禁止

- 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。



注意



電源プラグをコンセントから抜け

- お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。



- オーディオ機器、スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。又接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。
- 電源を入れる際には音量を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力傷害などの原因となることがあります。
- 5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談してください。
- ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。



- 調理台や加湿器のそばなど湯煙が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に湿度が高くなる場所に放置しないでください。部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

本機の特長

- クロスフェーダー部にVCAコントロールシステム※を採用することにより、滑らかな動きと長寿命を実現しています。またミキシングカーブの調節も簡単なので、プレイスタイルに合わせて幅広くご使用頂けます。
 - 4つの各プログラムチャンネルごとにPHONO1系統、LINE2系統の入力を装備しています。それぞれのプログラムには、3バンドEQ、バランスコントロール、ゲインコントロールを装備し、細かい音づくりが可能です。
 - 各プログラムのうち、ライン入力の1系統は上面パネルに入力ジャックが装備されています。サンプラー・CDプレイヤー等を容易に接続でき、様々なセッティングに対応できます。
 - プログラムごとに独立した、ステレオのプログラムI/Oを装備しています。接続端子を前面に配しているので、ディレイ等のエフェクターの接続も容易です。
 - 2系統の独立したマスターアウトの他、DJブース用モニターアウト、キューアウトなど出力系も充実しています。なおマスターアウトはバランスアウトとアンバランスアウトの両方のタイプを搭載しています。
- ※ VCAコントロールシステム：半導体のコントロール電圧を可変することにより、間接的に音声信号をコントロールするシステムです。クロスフェーダー自体に音声信号を流さないで、よりスムーズなコントロールと驚異的な長寿命を実現します。

ご使用上の注意

電源について

- 雑音を発生する装置(モーター、調光器など)や消費電力の大きい機器とは、異なるコンセントを使用して下さい。
- 接続する際は、誤動作、スピーカーなどの破損を防ぐため、必ず全ての機器の電源を切ってから行って下さい。

設置について

- この機器の近くにパワーアンプなどの大型のトランスを持つ機器があると、ハム(うなり)を誘導することがあります。この場合は、本機との間隔や方向を変えて下さい。
- テレビやラジオの近くでこの機器を動作させると、テレビ画面に色むらが発生したり、ラジオから雑音が出ることがあります。この場合は、この機器を遠ざけて使用して下さい。

お手入れについて

- 通常のお手入れは、柔らかい布で乾拭きするか、強く絞った布で汚れを拭き取って下さい。汚れが激しいときは、中性洗剤を含んだ布で汚れを拭き取ってから、柔らかい布で乾拭きして下さい。
- 変色や変形の原因となるベンジン、シンナー及びアルコール類は、使用しないで下さい。

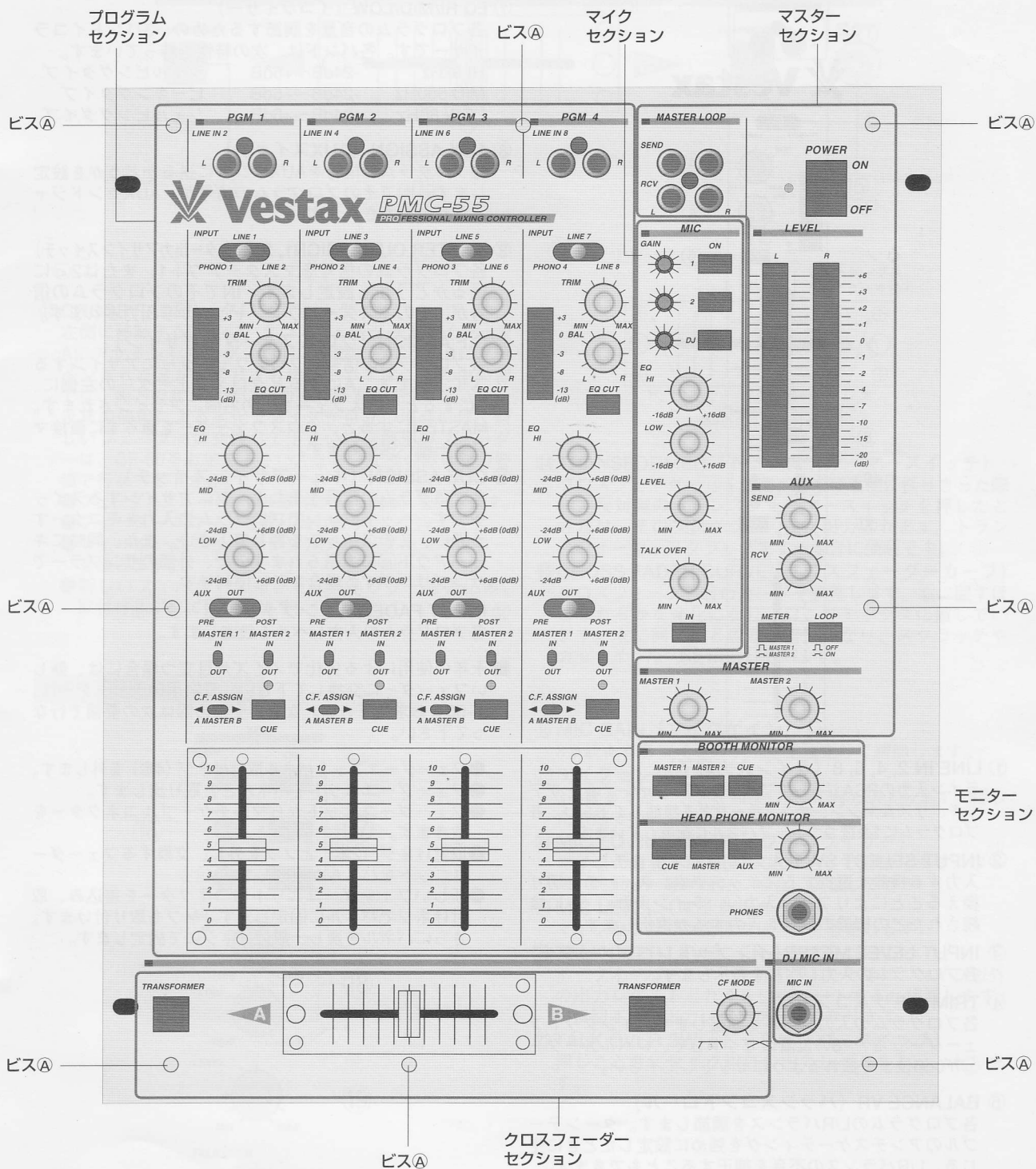
修理について

- お客様が本機を分解、改造された場合、以後の性能について保証できなくなります。また、修理をお断りする場合がございます。
- 当社では、この製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後、8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期限とさせていただきます。なお、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げのお店または、当社商品の取り扱い店にご相談下さい。
- 本機の保証期間は1年ですが、クロスフェーダーやインプットフェーダーなどを耐久性の超えた使い方(スクラッチプレイでご使用になった場合等)をされると、通常のパーツの耐久期間(1年以上)が、1ヶ月に短縮されてしまうことがあります。その場合、保証内で修理に出されても、消耗部品という判断により、パーツ交換代として実費を請求させていただきます。

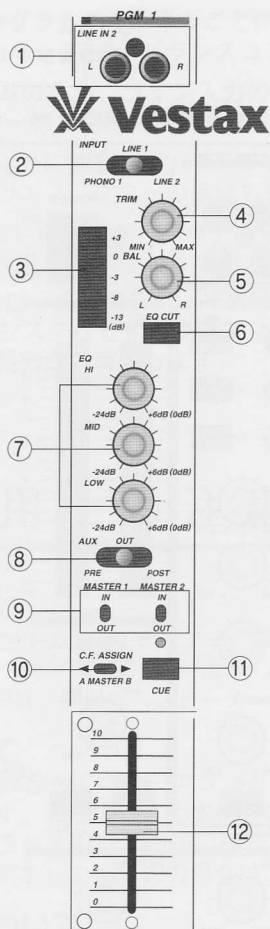
その他の注意について

- 故障の原因となりますので、スイッチ、ツマミ、入出力端子などに過度の力を加えないで下さい。
- ケーブルの抜き差しは、ショートや断線を防ぐためにプラグを持って行って下さい。
- 音楽をお楽しみになる場合、隣近所に迷惑がかからないように、特に夜間は音量に十分注意して下さい。
- 輸送や引越しの際は、この機器がはいっていたダンボール箱と緩衝材、または同等品で梱包して下さい。

各部の名称と機能



プログラムセクション



① LINE IN 2, 4, 6, 8 (ライン入力端子)

ライン入力のRCAジャックです。CDプレイヤー、テープデッキ、リズムマシン、サンプラーなどを接続して下さい。各プログラムに1系統ずつトップパネルに配置しています。

② INPUT SELECT SW (入力切換えスイッチ)

入力する機器を選択するスイッチです。スイッチを切り換えることによりフォノ入力③、ライン入力①、③に接続されたどの機器の信号を入力するか選択します。

③ INPUT LEVEL METER (インプットレベルメーター)

各プログラムの入力レベルを表示します。

④ TRIM (トリムコントロール)

各プログラムの入力レベルを調整します。インプットフェーダー⑫を7~8の位置にセットして、レベルメーター③が0dB位まで振れるようにセットして下さい。

⑤ BALANCE VR (バランスコントロール)

各プログラムのL/Rバランスを調整します。ターンテーブルのアンチスケーティングを強めに設定したときに生じる、L/Rバランスの不良を補正することもできます。

⑥ EQ CUT (イコライザーカット)

各プログラムのEQのカットスイッチです。押した状態で、EQがバイパスされフラットな状態になります。

⑦ EQ HI/MID/LOW (イコライザー)

各プログラムの音量を調節するための、3バンドイコライザーです。各バンドは、次の特性を持っています。

HI 8kHz	-24dB~+6dB	シェルビングタイプ
MID 500Hz	-24dB~+6dB	ピーキングタイプ
LOW 80Hz	-24dB~+6dB	シェルビングタイプ

⑧ AUX ASSIGN (AUXスイッチ)

各プログラムの信号をAUXセンドに送るかどうかを設定します。INでそのプログラムの信号が、AUXセンドジャックから出力されます。

⑨ MASTER OUT ASSIGN1, 2 (マスター出力アサインスイッチ)

各プログラムの信号をマスターアウト1、または2⑭に送るかどうかを設定します。INでそのプログラムの信号が、そのマスターアウトジャックから出力されます。

⑩ C.F. ASSIGN (クロスフェーダーアサイン)

各プログラムの信号をクロスフェーダーにアサインするスイッチです。Aにするとクロスフェーダーの左側に、Bにするとクロスフェーダーの右側にアサインされます。MASTERにすると、クロスフェーダーを通らずに直接マスター部へ送られます。

⑪ CUE ASSIGN (キューアサインスイッチ)

各プログラムの信号をモニター部にアサインするスイッチです。ヘッドフォンでプログラムの入力モニターする際に、このスイッチを押して下さい。また、同時にキューアウト⑮にも送られますので、外部のサンプラーでサンプリングする場合などに便利です。

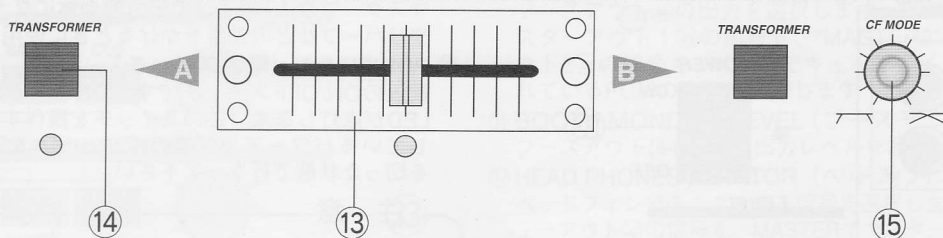
⑫ INPUT FADER (インプットフェーダー)

各プログラムの入力レベルを設定します。

■ 永年の使用による劣化でノイズが目立つ場合には、新しいフェーダーに交換して下さい。交換用のフェーダーは、IF-50をお求め下さい。なお、交換の際は次の要領で行なって下さい。

- フェーダーユニットパネル取付けネジ (4本) を外します。
- フェーダーユニットをパネルごと取り出します。
- フェーダーユニットからマルチケーブルコネクターを抜きます。
- 取付けネジ (2本) とノブを外し、交換するフェーダーユニットをパネルから外します。
- 新しいフェーダーユニットにコネクターを差込み、取付けネジでパネルに固定します。ノブも取り付けます。さらにパネルを戻し、取付けネジにて固定します。

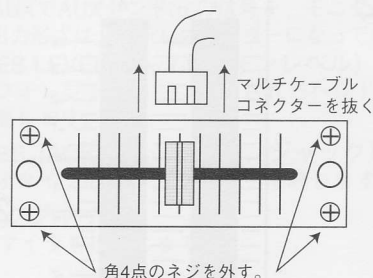
クロスフェーダーセクション



⑬ CROSS FADER (クロスフェーダー)

左側に移動するに従い、クロスフェーダーアサイン⑩でAにアサインした音が、右側に移動するに従いBにアサインされた音が、それぞれ出力されます。また中央部では、両方の音が同時に出力されます。永年の使用による劣化でノイズが目立つ場合には、新しいフェーダーに交換して下さい。交換用のフェーダーは、CF-50をお求め下さい。なお、交換の際は次の要領で行なって下さい。

- フェーダーユニットパネル取付けネジ (4本) を外します。
- フェーダーユニットを取り出します。
- フェーダーユニットからマルチケーブルコネクタを抜きます。
- 新しいフェーダーユニットにコネクタを差込み、取付けネジにて固定します。



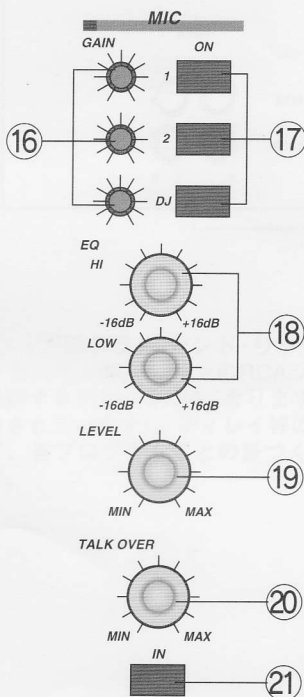
⑭ TRANSFORMER (トランスフォーマースイッチ)

クロスフェーダー⑬を左側、または右側に振りきった際に、反対側のトランスフォーマースイッチを押したときだけ、そのプログラムの音出力されます。トランスフォーマースクラッチをする場合に便利です。

⑮ CROSS FADER CURVE (クロスフェーダーカーブ)

クロスフェーダー⑬のカーブを調整します。右に回すほどなだらかな変化になり、ロングミックスに適しています。左に回すほど急激な変化になり、スクラッチやカットイン/アウトに適しています。

マイクセクション



⑯ MIC GAIN (マイクゲイン)

3系統ある各マイクのゲインを独立して調節します。

⑰ マイクセクター

3系統ある各マイクを独立して、ON / OFFします。押した状態でONになります。

⑱ MIC EQ HI/LOW (マイクイコライザー)

マイクの音質をHI/LOWの2バンドで調節します。プレス (息継ぎ) 等が目立つ場合に調整して下さい。

⑲ MIC LEVEL (マイクレベル)

マイクセクション全体のレベルを設定します。

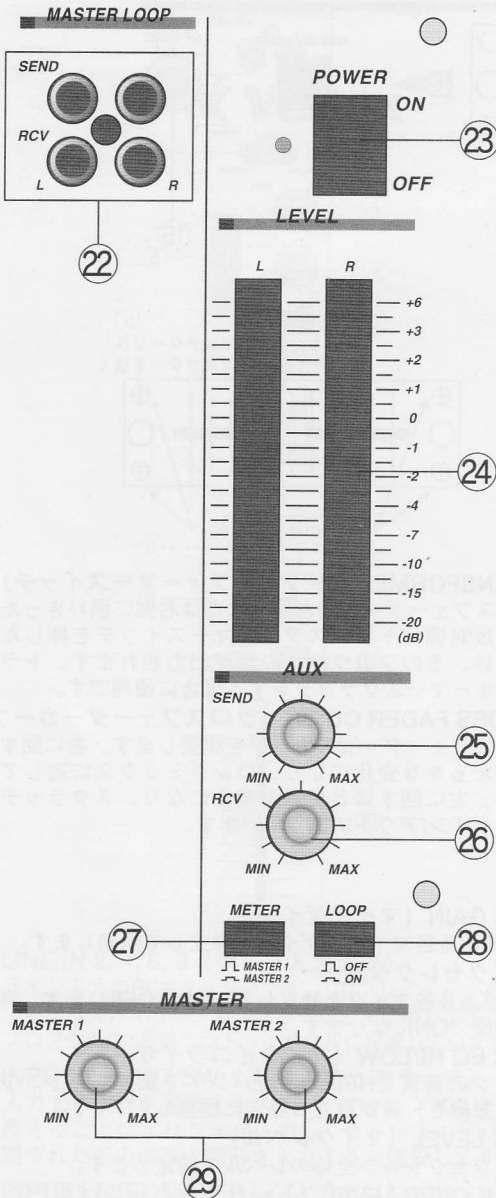
⑳ TALK OVER LEVEL (トークオーバーレベル)

トークオーバースイッチ㉑を押したときに、マイク以外の出力レベルをどれくらいミュートするか調節します。右に回すほど出力レベルが小さくなります。

㉑ TALK OVER SW (トークオーバースイッチ)

押したときにマイク以外の出力レベルをミュートします。

マスターセクション



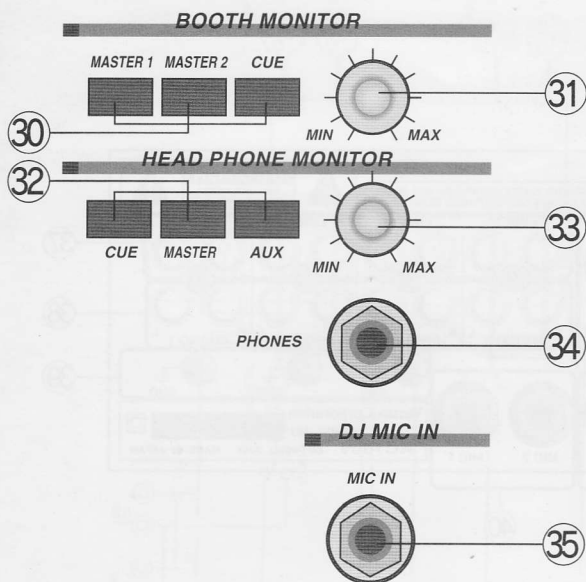
- ②2 MASTER LOOP JACK (マスターループ端子)
マスターアウト1端子④3の出力音全体にグラフィックEQやリバーブなどの効果をかけるときに使用します。
- ②3 POWER SW (電源スイッチ)
電源のON/OFFスイッチです。ONのときにパネル上のLEDが点灯します。このスイッチを操作する際は、接続しているパワーアンプ等のボリュームを下げるか電源を切った状態で行なって下さい。

注 意

マスターアウト1端子以外の出力にマスターループ機能を使用することはできません。

- ②4 OUTPUT LEVEL METER (出力レベルメーター)
マスターアウト1、または2④3から出力される信号レベルを表示します。
- ②5 AUX SEND LEVEL (AUXセンドレベル)
AUXセンド④1から出力される信号レベルを調節します。出力される信号は、AUXアサインスイッチ⑧で選択します。
- ②6 AUX RTN LEVEL (AUXリターンレベル)
AUXリターン④1に入力される信号レベルを調節します。サブのライン入力としても使うことができます。
- ②7 METER ASSIGN (メーターアサイン)
アウトプットレベルメーター②5にMASTER1,2どちらのレベルを表示するかを選択するスイッチです。
- ②8 LOOP SW (ループスイッチ)
マスターループ②3のON/OFFを行ないます。
- ②9 MASTER OUT LEVEL1,2 (マスター出力レベル)
マスターアウト1、または2④3からの出力レベルを設定します。

モニターセクション



③① **BOOTH MONITOR SELECTOR** (ブースモニターセクター)
ブースアウト④④の出力を選択します。"MASTER 1"でマスターアウト1④③の信号を、"MASTER2"でマスターアウト2④③の信号を、"CUE"でキューアサイン①①で選択されているPGMの音声を出力します

③① **BOOTH MONITOR LEVEL** (ブースモニターレベル)
ブースアウト(44)からの出力レベルを設定します。

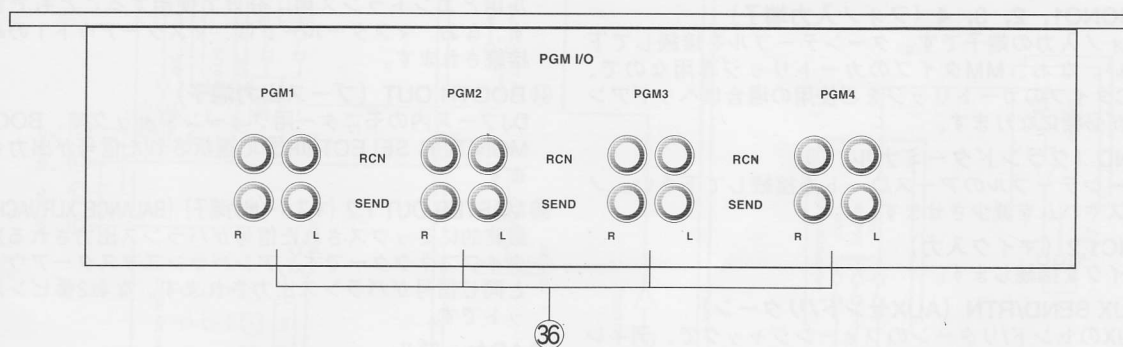
③② **HEAD PHONES MONITOR** (ヘッドフォンモニターセクター)
ヘッドフォンでモニターする信号を選択します。CUEでキューアウト④②の信号を、MASTERでマスターアウト④③の信号を、AUXでAUXセンド④④の信号を、モニターできます。なお、出力形式は、ステレオモニターになっています。

③③ **PHONES LEVEL** (ヘッドフォンレベル)
ヘッドフォンジャック③⑤に接続されたヘッドフォンの音量を調節します。

③④ **PHONES JACK** (ヘッドフォンジャック)
ステレオタイプのヘッドフォンを接続します。

③⑤ **DJマイクジャック**
DJ用のマイクを接続します。

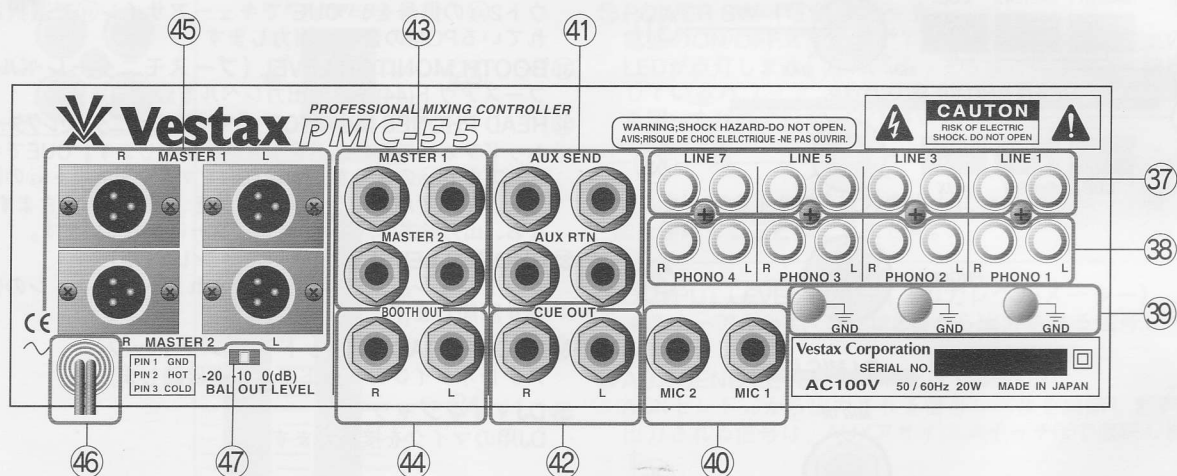
フロントパネルセクション



③⑥ PGM I/O (プログラム センド・リターン)

各プログラムインサージョンのRCAジャックで、リターンに接続するとループONになります (センドからは常時出力されています)。ディレイ等のエフェクターを接続して、各プログラムごとの音づくりをするときに便利です。

リアパネルセクション



③⑦ LINE 1, 3, 5, 7 (ライン入力端子)

ライン入力のRCAジャックです。CDプレイヤー、テープデッキ、リズムマシン、サンプラーなどを接続して下さい。

③⑧ PHONO 1, 2, 3, 4 (フォノ入力端子)

フォノ入力の端子です。ターンテーブルを接続して下さい。なお、MMタイプのカートリッジ専用なので、MCタイプのカートリッジをご使用の場合はヘッドアンプが必要になります。

③⑨ GND (グラウンドターミナル)

ターンテーブルのアースコードを接続して下さい。ノイズやハムを減少させます。

④⑩ MIC 1, 2 (マイク入力)

マイクを接続します。

④⑪ AUX SEND/RTN (AUXセンド/リターン)

AUXのセンド/リターンのフォーンジャックで、ディレイなどのエフェクターを接続します。なお、センドはAUXアサイン⑧でプリフェーダーとポストフェーダーどちらからの信号を出力するか、選択可能です。

④⑫ CUE OUT (キュー出力端子)

サブアウトとしても使えるフォーンジャックで、キューアサイン⑪で選択された信号が出力されます。外部のサンプラーでサンプリングする場合などに便利です。

④⑬ MASTER OUT 1, 2 (マスター出力端子) [UNBALANCE. 1/4" PHONE JACK]

最終的にミックスされた信号が出力されるフォーンジャックです。アンプ等に接続して下さい。2系統あるのでメイン出力以外に片方を録音用として使用したり、ホール用とエントランス用に分けて使用することもできます。なお、マスタートーループは、マスタートアウト1のみに接続されます。

④⑭ BOOTH OUT (ブース出力端子)

DJブース内のモニター用フォーンジャックで、BOOTH MONITOR SELECTOR③⑩で選択された信号が出力されます。

④⑮ MASTER OUT 1, 2 (マスター出力端子) [BALANCE. XLR JACK]

最終的にミックスされた信号がバランス出力されるXLRタイプコネクターです。アンバランスマスタートアウト④⑬と同じ信号がバランス出力されます。なお2番ピンがホットです。

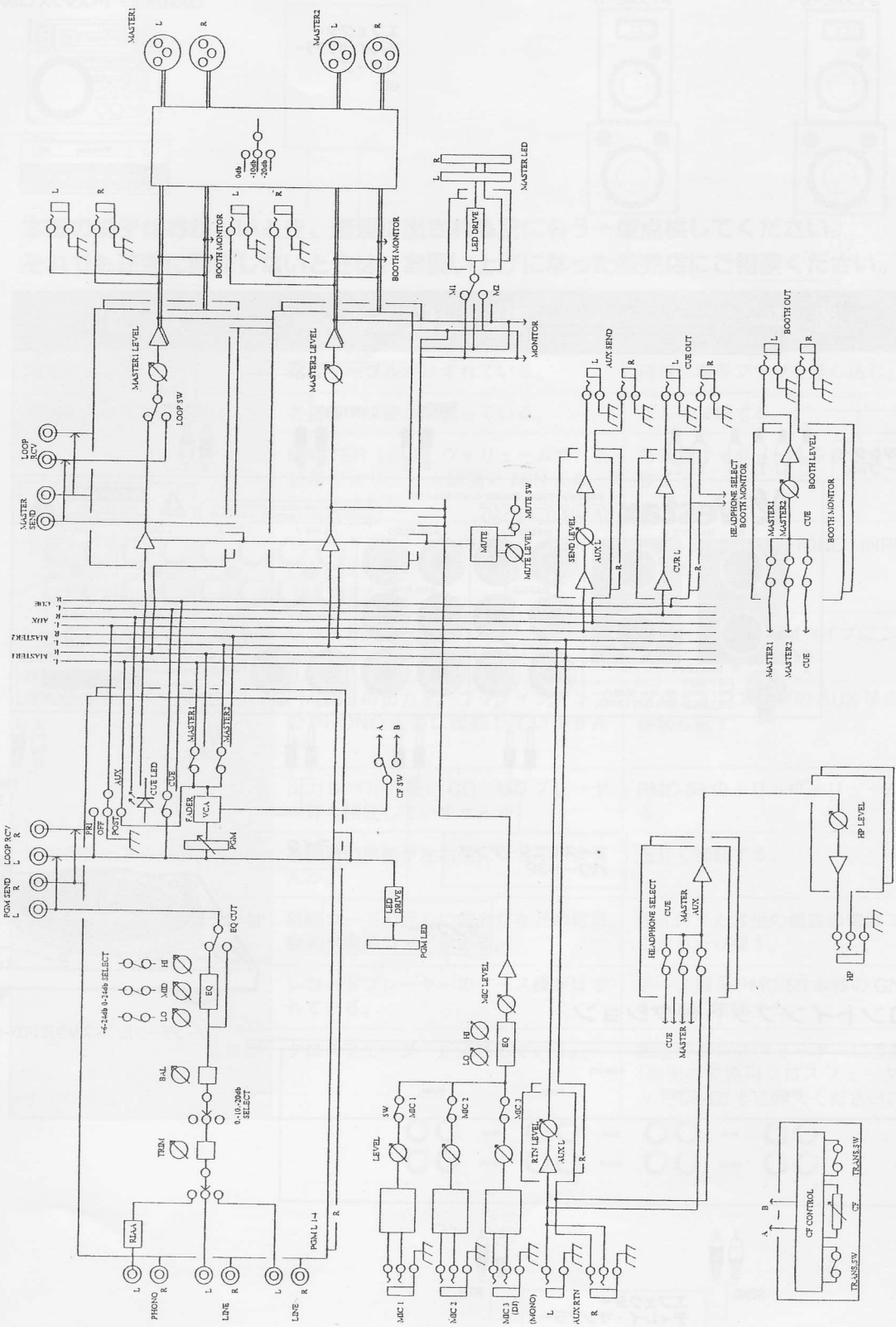
④⑯ ACケーブル

電源を供給するケーブルです。壁のコンセントに直接つないで下さい。

④⑰ BALANCE OUT LEVEL SWITCH

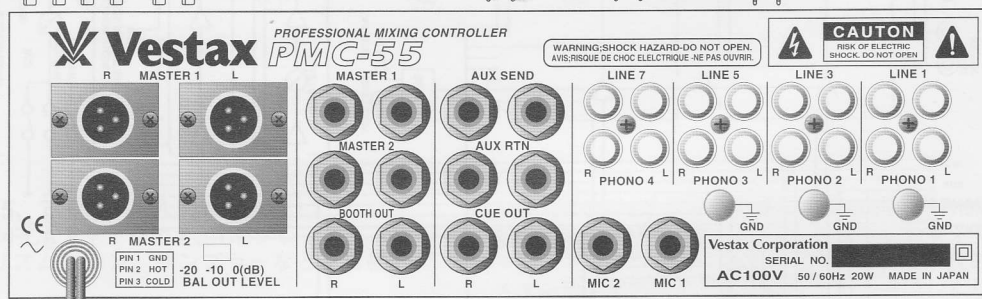
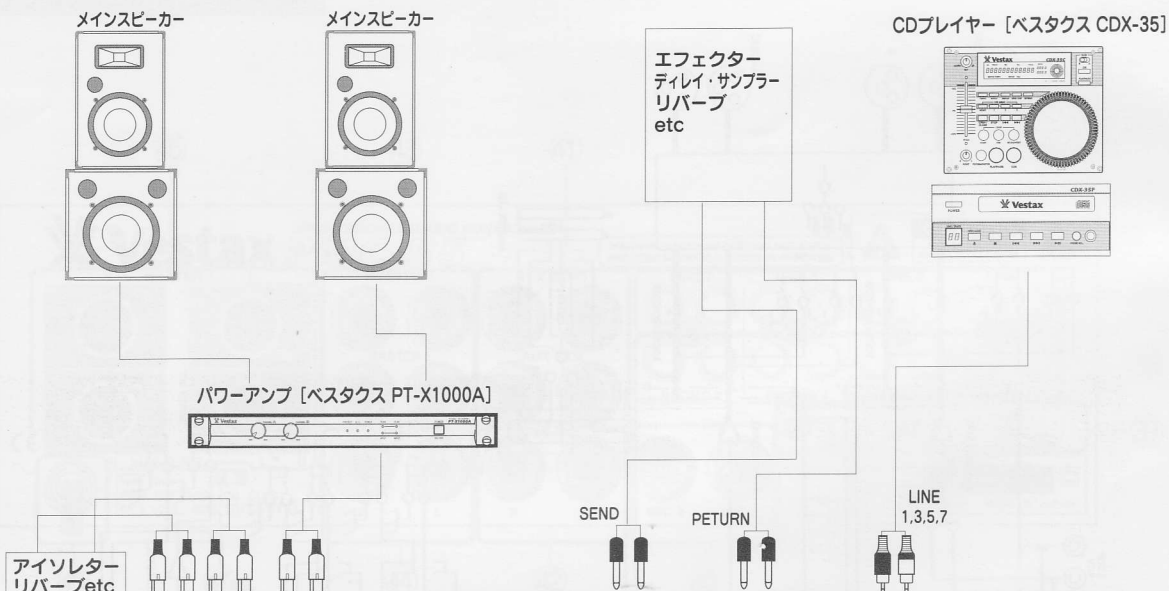
MASTER 1, 2のバランス出力のレベルを切りかえるためのスイッチです。接続する機器にあわせて切り替えて下さい。

ブロックダイアグラム



接続例

リアパネルセクション



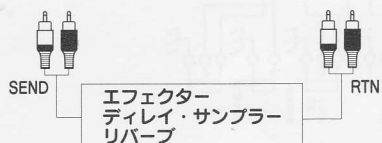
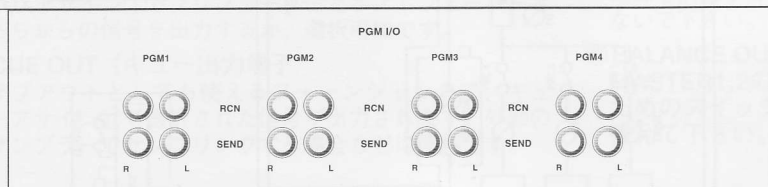
ブースモニターアンプ
パワードSP

マイク

サンプラー

PHONO
1,3,5,7

フロントインプットセクション



ターンテーブル [ベスタクス PDX-a1S]

故障かな？と思ったら

本機の調子がおかしいとき、修理に出される前にもう一度点検してください。

それでも正常に動作しないときは、お買い上げになった販売店にご相談ください。

症 状	考えられる原因	処 置
電源が入らない。	電源ケーブルがはずれている。	確実に電源プラグを差し込む。
電源を入れても音が出ない。	各機器の接続が間違っている。	正しく接続する。
	MASTER LEVEL ヴォリュームや、各音量ヴォリューム調整が MIN になっていませんか。	各音量ヴォリュームを適正な位置に調整する。
音量が小さい。	レコードプレーヤーの出力ケーブルを PMC-55 本体の LINE INPUT に接続していませんか。	PMC-55 本体の PHONO INPUT に接続し直す。
	レコードプレーヤーのカートリッジに、MC タイプを使用していませんか。	カートリッジを MM タイプに交換する。
音がひずむ。	PMC-55 の出力を、プリメインアンプの PHONO 入力に接続していませんか。	プリメインアンプの AUX 等の入力に接続し直す。
	出力レベルの高い CD、MD プレーヤー等を接続していませんか。	PMC-55 のトリムヴォリュームを下げる。
左右の音が逆になる。	各機器の接続が左右逆になっていませんか。	正しく接続する。
演奏中にブーンという低い音(ハム音またはパス音)がはいる。	接続コードの近くに蛍光灯などの電気機具や電源コードがある。	蛍光灯または他の機器の電源コードをできるだけ離す。
	レコードプレーヤーのアース線がはずれている。	アース線を PMC-55 本体の GND ターミナルに接続する。
クロスフェーダーの動きが悪い。または、動かすとノイズが発生する。	クロスフェーダーが消耗している。	新品のクロスフェーダーに交換する。 (別売の交換用クロスフェーダーユニット CF-50 をご購入ください。)

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

保証書（別添）

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

——保証期間——
お買い上げの日から1年です。

補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り8年です。

この期間は通産省の指導によるものです。

性能部品とは、その製品の機能を維持する為に必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

異常のあるときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

（保証期間中であっても、内容により有償となる場合があります。）

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。

保証書の規定に従って修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

見積りの必要な場合はあらかじめお伝えください。

便利メモ	お買い上げの日	
	お買い上げ店名	☎ () —

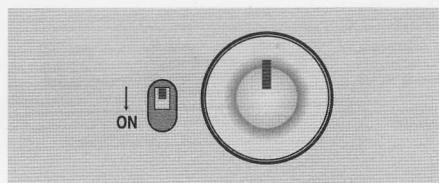
ブーストキャンセルスイッチ／トリムレベルセレクトスイッチ機能

注 意

ブーストキャンセルスイッチ、入力レベル切換えスイッチを操作する際は、フロントパネルを取り外して下さい。その際は、フロントパネルを固定している8本のビス^④（4ページ参照）を外し、フロントパネルを取り外して下さい。

ブーストキャンセルスイッチの使用法

①



① HI,MID,LOWの各イコライザーボリュームには、ブーストキャンセルスイッチが装備されています。

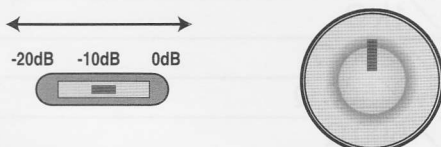
②



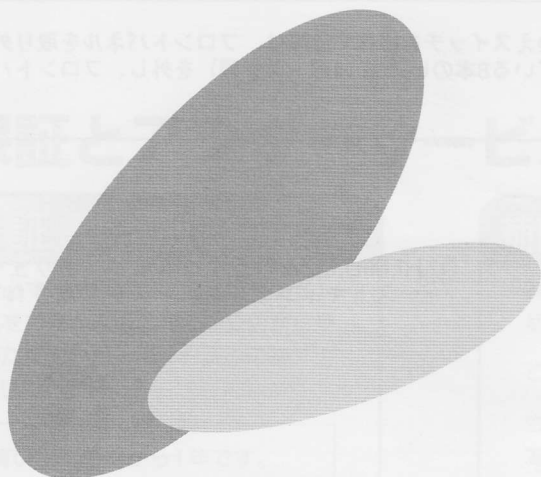
② このスイッチをONにすることにより、各イコライザーのブースト側がキャンセルされ、左図のようにレンジが切替わります。

トリム最大レベル切換えスイッチの使用法

③



③ トリムボリュームには、最大レベルの切換えスイッチが装備されています。入力する側の機器のレベルに応じて、トリムの最大値を-20dB,-10dB, 0dBの3段階に設定することができます。



主な仕様

	定格出力レベル／インピーダンス
PHONO	- 42dBv／60k Ω
LINE	- 10dBv／20k Ω
MIC	- 60dBv／2k Ω
AUX RTN	- 10dBv／10k Ω
MASTER LOOP RTN	- 10dBv／10k Ω
PGM I/O RTN	-10dBv／5k Ω
	定格出力レベル／インピーダンス
MASTER OUT (UNBAL)	0dBv／1k Ω .
MASTER OUT (BAL)	4dBm／200 Ω
AUX SEND	-10dBv／500 Ω
CUT OUT	0dBv／500 Ω
BOOTH OUT	0dBv／500 Ω
HEAD PHONES	80mW max @ 33 Ω ／ $\geq 8\Omega$
MASTER LOOP SEND	-10dBv／1k Ω
PGM I/O SEND	-10dBv／500 Ω
周波数特性	20Hz～20kHz (+0, - 1dB)
S／N比	120dB以上
THD	0.01%以下
外形寸法 (W×H×D)	330×90×400mm
重量	7.0kg
消費電力	20W